

高齢化率 静岡県第1位 (52.0%)
西伊豆町
みんなで話してみたらこうなった！

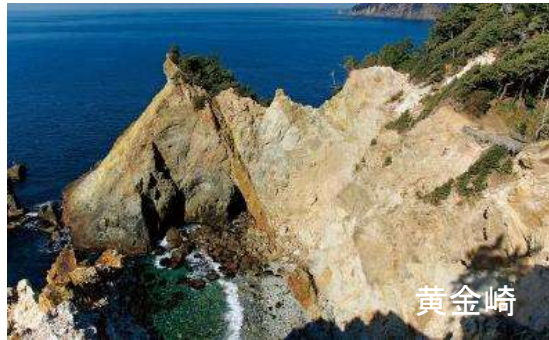
西伊豆町 健康福祉課
介護保険係 土屋 佑斗

- ① 西伊豆町の概要・体制
- ② これまでの当町の取り組み
- ③ エントリー理由
- ④ その後の取り組み
- ⑤ 結果・最後に

西伊豆町の概要(令和5年1月1日)



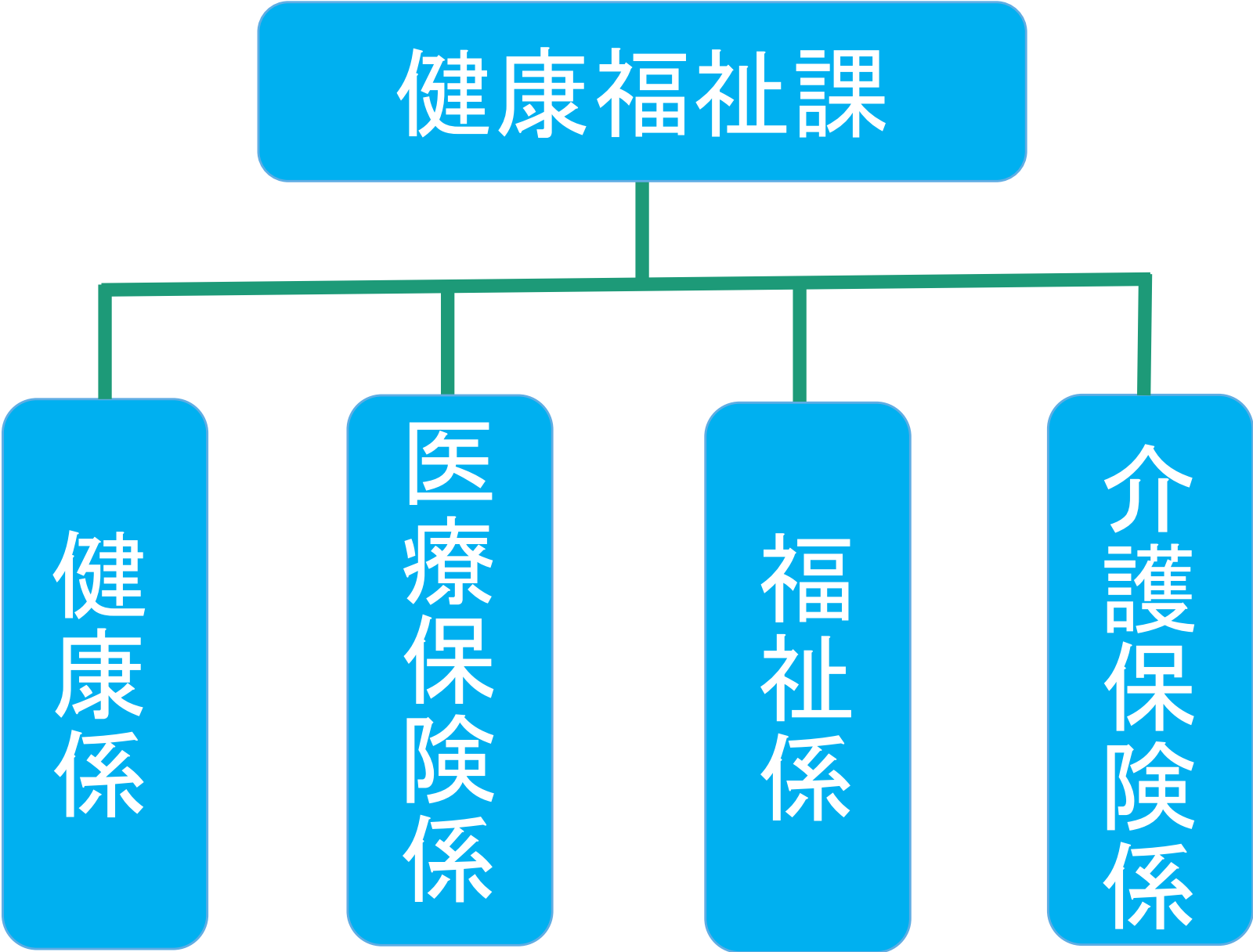
西伊豆町の概要(令和5年1月1日)



人口	7,097 人	男:3,391人 女:3,706人	
世帯数(R4.4.1)	3,673 世帯	一人暮らし高齢者:1,115世帯 高齢者のみ世帯 : 728世帯	全世帯数 の50.1%
65～74歳人口	1,522 人		
75歳以上人口	2,171 人		
高齢者合計	3,693 人		
高齢化率	52.0 %		
介護認定者数(R4.9.30)	588 人	要支援認定者:97人 要介護認定者:491人	
介護認定率(R4.9.30)	15.8 %		
介護保険料基準月額	6,500 円		
日常生活圏域	1か所		

西伊豆町の体制

健康福祉課



```
graph TD; A[健康福祉課] --- B[健康係]; A --- C[医療保険係]; A --- D[福祉係]; A --- E[介護保険係];
```

The diagram shows a hierarchical structure where the 'Health and Welfare Department' (健康福祉課) is at the top, connected by a green line to four sub-departments: 'Health' (健康係), 'Medical Insurance' (医療保険係), 'Welfare' (福祉係), and 'Nursing Insurance' (介護保険係). Each sub-department is represented by a blue rounded rectangle with white text.

健康係

医療保険係

福祉係

介護保険係

委託

地域包括支援センター
（社会福祉協議会）

西伊豆町の体制

係長
(一般事務)

地域包括支援センター運営、在宅医療・介護連携
介護保険計画・日常生活圏域ニーズ調査、各種交付金申請
介護認定審査会、予算編成、第三者行為

主任保健師

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
一般介護予防事業、認知症関連事業
地域ケア会議、任意事業
被保険者証等の発行

主任主事
(一般事務)

介護予防・日常生活支援総合事業
生活支援体制整備事業、介護認定調査
介護保険事業状況報告（月報・年報）
給付費の支払い・過誤、老人生活用具給付
保険給付・適正化事業、事業所指定・運営指導
主治医意見書支払い
会計年度任用職員・地域おこし協力隊
新型コロナウイルス感染症

会計年度
任用職員
(介護認定調査員)



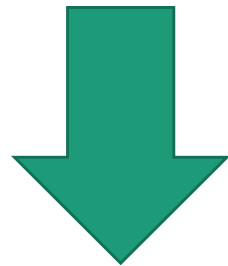
- ① 西伊豆町の概要・体制
- ② これまでの当町の取り組み
- ③ エントリー理由
- ④ その後の取り組み
- ⑤ 結果・最後に

これまでの西伊豆町の取り組み

国民健康保険1人当たり医療費(H27)358,562円(32/35市町中)

後期高齢者1人当たり医療費(H27)760,486円(29/35市町中)

第7期介護保険料(平成30年度から令和2年度)
標準月額7,000円(静岡県で1番高い)

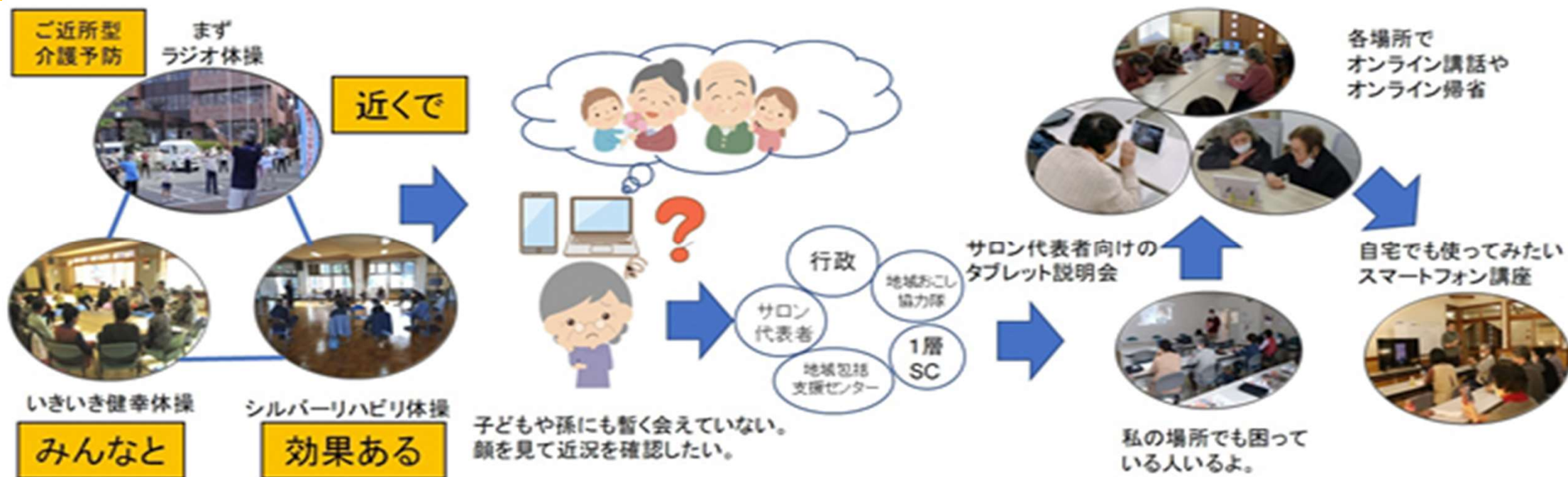


このままだと**2025年度(令和7年)10,000円**になってしまう

今のままでは何も変わらない！

係・課の枠を超えて事業に取り組む必要がある！！

これまでの西伊豆町の取り組み



地域おこし協力隊
(理学療法士)



電子地域通貨を活用した 健康マイレージ事業

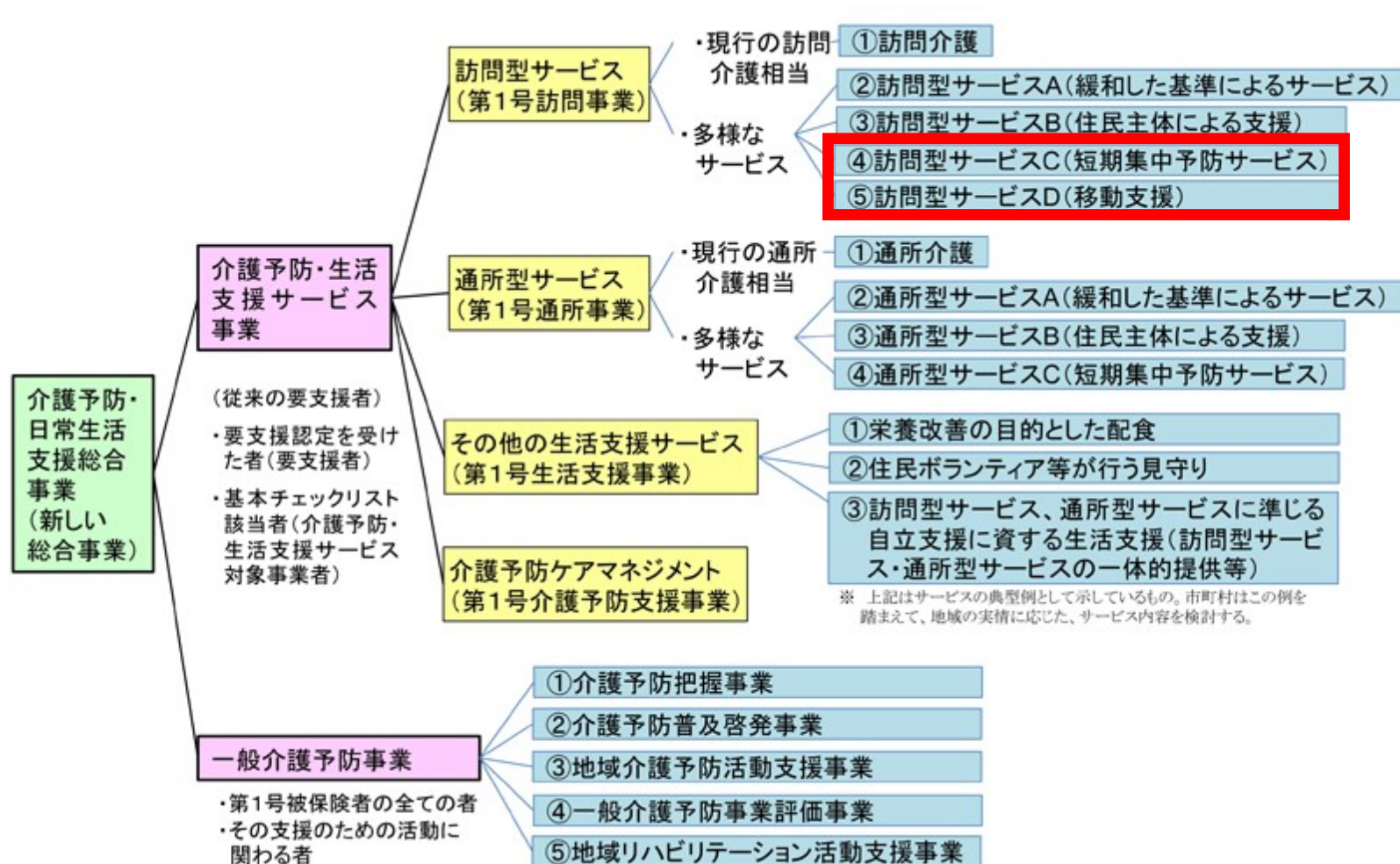
地域通貨単位
1ユーヒ
||
1円換算



- ① 西伊豆町の概要・体制
- ② これまでの当町の取り組み
- ③ エントリー理由
- ④ その後の取り組み
- ⑤ 結果・最後に

エントリー理由

- ① 担当職員が異動した場合も継続して地域包括ケアを構築できるようになるための庁舎内の情報共有・連携体制の構築
- ② 訪問型サービスC、移動・外出支援実施に向けての事業整理



事業(リハビリサービスなど)が整えば、介護給付費も減少するのではないか！



サービスがあっても活用する側が上手く活用できなければ状態はさらに悪くなる。
既存の事業を整理し、仕組みで解決できないか、まず検討する必要がある！

エントリー理由

課題

総合事業の上限額が、従前相当の訪問・通所サービスで超えてしまっている。

既存事業と社会資源を上手く活用し、従前相当サービスの利用者を卒業させる仕組みを作らなければならない。

目標:776万円

限度額超過している金額

698万円の削減

従前相当(訪問・通所)
利用者の内
住民主体の通いの場

+

訪問型サービスA
で対応可能な方を把握

344万削減可能

いきいき健幸体操教室
一人当たり費用
92,500円

330万削減可能

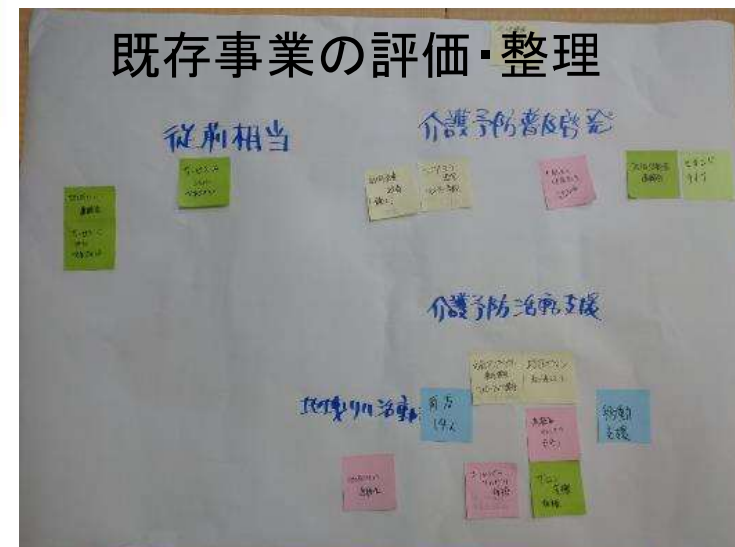
介護認定からの卒業に
伴うケアマネジメント費

24万削減可能

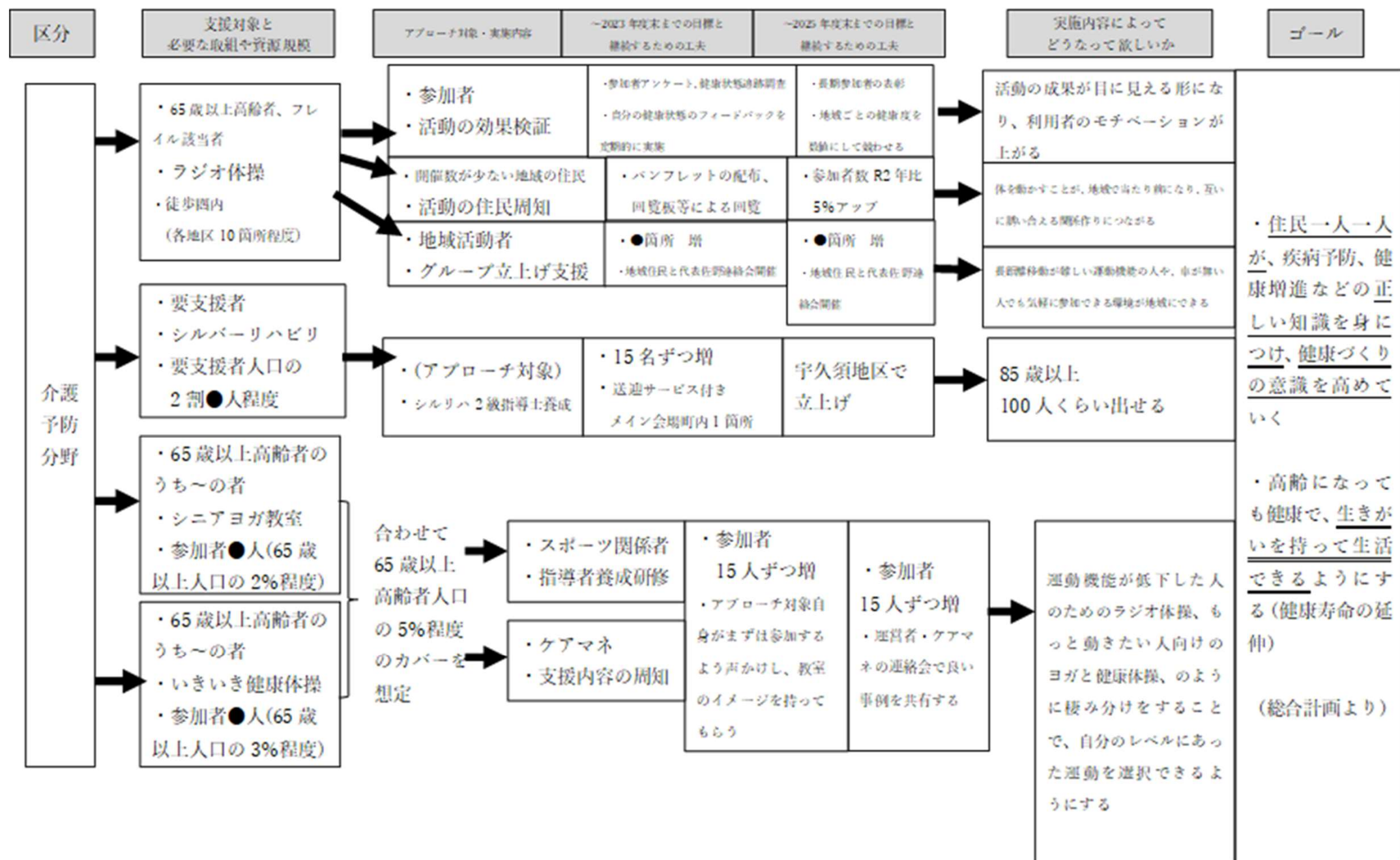
社会資源の把握(見える化)



既存事業の評価・整理



エントリー理由



- ① 西伊豆町の概要・体制
- ② これまでの当町の取り組み
- ③ エントリー理由
- ④ その後の取り組み
- ⑤ 結果・最後に

その後の取り組み

規範的統合

地域包括ケアシステムの構築に関する基本方針。
この方針が住民、専門職、サービス提供主体によって共有されること。
価値観や文化といったものに対する視点が共有されること。

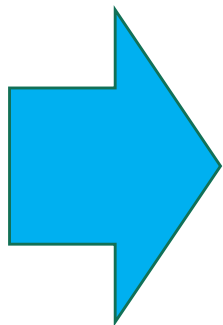
課題感の共有、目線合わせも
出来て動き出すだけと思っていたが...

チャンスに！

包括支援センターの職員3名全て変わる
ことになる



ピンチを



- ・西伊豆町の現状・課題共有
- ・あるべき姿の目線合わせ
- ・あるべき姿－現状＝課題の共有
- ・解決すべき優先課題の共有

その後の取り組み



- ・課題解決に必要な連携先の参加
- ・あるべき姿の目線合わせ
- ・課題解決に向けた役割分担等

西伊豆町地域リハビリテーション連絡会

町民の皆さんが、住み慣れた地域の中でその人らしく生き生きと暮らし続けることができるように、地域ぐるみで健康支援やリハビリテーションに取り組む。

[目的]

- ① 地域におけるリハビリテーションの役割と専門職間の連携を図るため
- ② 西伊豆町の介護予防について、方向性を定め実施可能な取り組みを検討する場として

[目標]

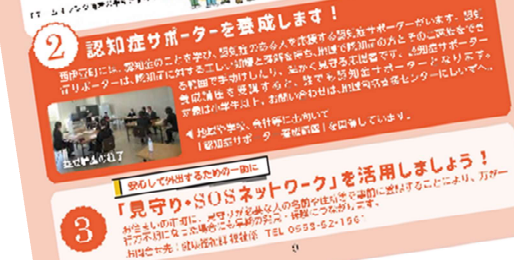
- ① 介護認定率を下げる
- ② 二次予防事業アンケート結果の改善
対象項目「閉じこもり・うつ・認知症」

生活支援・介護予防グループ

課題

- ① 認知症を理解している住民が少ない。
認知症になると家族や近所の人々がすぐに施設入所させようとする。
- ② 高齢者サロンなど住民の集いの場は増えているけど・・・ない地区も
もっと住民に周知して、新たな活動を創設しよう

ラジオ体操・サロンマップ
の周知や各サロンの
取り組みを広めよう



介護グループ

課題

- ① 介護サービスをいつまでも利用することが当たり前になっている。
(住民、ケアマネ、介護サービス事業所)
- ② 専門職の人材育成が出来ていない。そのため、サービス事業所のケアの質が低い。
- ③ 事業所間、医療機関、地域との連携が不足している。

各事業所を回ってヒアリング

- ・通所介護計画・訪問介護計画など
独学、前任者の資料を見て書いている。
- ・一般的な介護方法は分かる。
しかし、個別の課題を解決する
ような介護をしてきていない。
- ・新型コロナが始まってから事業所
同士集まることがなくなった。

「基本」が分からない
だから勉強したい



地域おこし協力隊
(リハビリテーション専門職)
が事業所に訪問し、現状を確認し
「自立支援」の視点でアドバイス

医療グループ

課題

- ① 経営面もあり、入院中から退院＝在宅を意識したリハビリテーション計画が出来ていない。
- ② 病院のリハ職、在宅のリハ職、他の医療機関と「自立」の視点が揃っていない。
- ③ 入院時の情報、退院後の状況の共有がリハ職同士でされていない。

地域の医療職にヒアリング



他の医療職や他機関の業務
が分からない。
連携に対して課題を感じて
いることを確認。

医療職向けの勉強会
介護予防・日常生活支援総合事業等



その他

高齢化率70%の地区で福祉懇談会



生活ボランティア養成講座の開催

おねがい会員

- ・依頼を受けたサービスを実施
- ・事務局へボランティアの依頼
- ・利用料の支払 (サンセットコイン)

まかせて会員

- ・活動報告
- ・ボランティアの調整
- ・報酬の支払い (リンセットコイン)

ふるさと応援会員

- ・ふるさと納税事業認定交付

事務局 (社協)

- ・受付・利用者登録
- ・サンセットコインチャージ
- ・利用料請求 (サンセットコイン)

西伊豆町

- ・事業委託
- ・事業のお知らせや地元情報

＜お願いしたいこと＞

庭掃除・ゴミ出し・分別ごみ仕分け・洗濯干したみ・繕い物・自動車による買い物等付添・買い物代行 等

＜ボランティア登録＞

まかせて会員は社協にボランティア登録していただく。

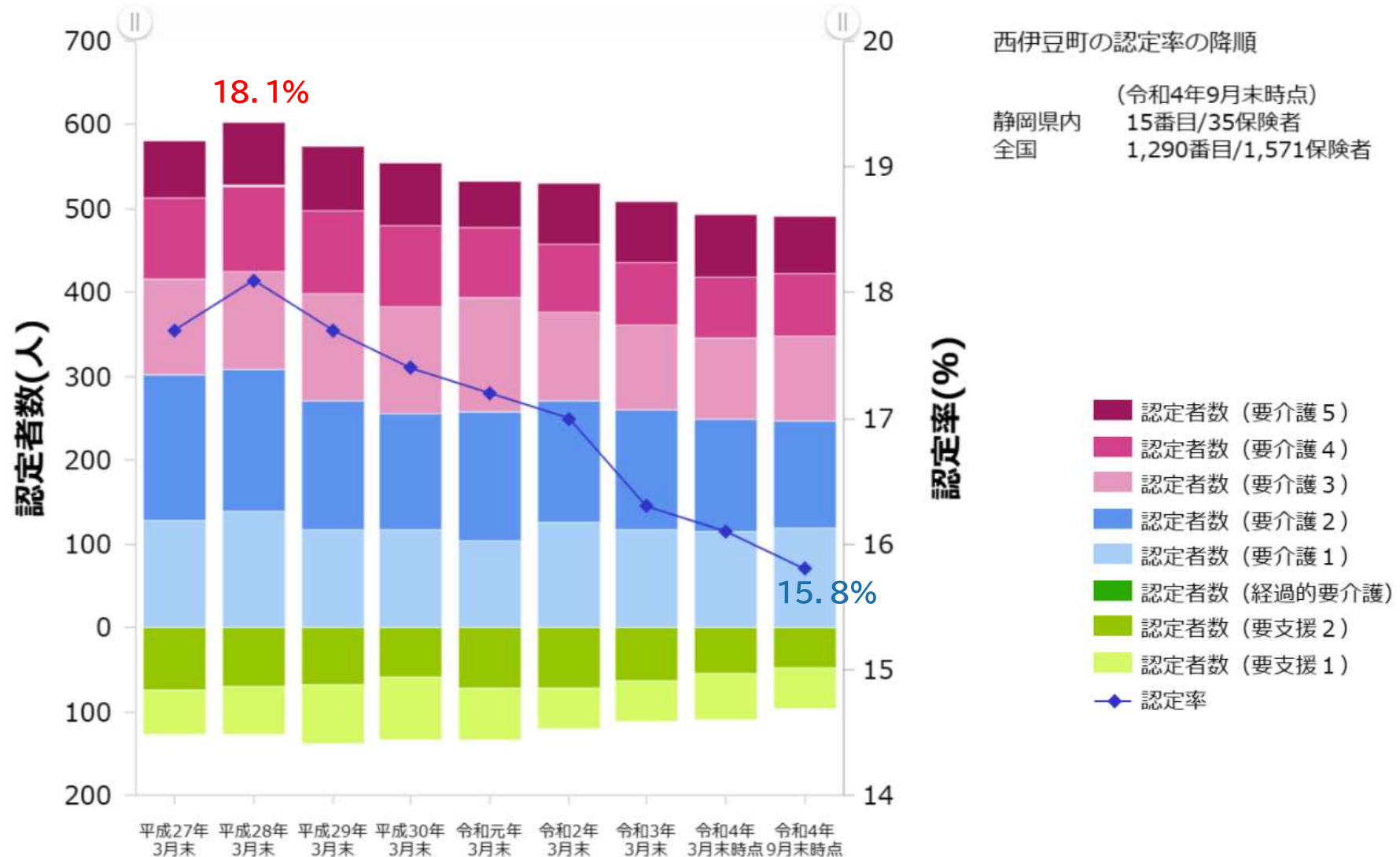
＜ふるさと納税で応援＞

地元から出て県外等で暮らす方にふるさと応援会員になっていただき、納税の返礼品として定期的に事業のお知らせを地元情報を配送

- ① 西伊豆町の概要・体制
- ② これまでの当町の取り組み
- ③ エントリー理由
- ④ その後の取り組み
- ⑤ 結果・最後に

結果として

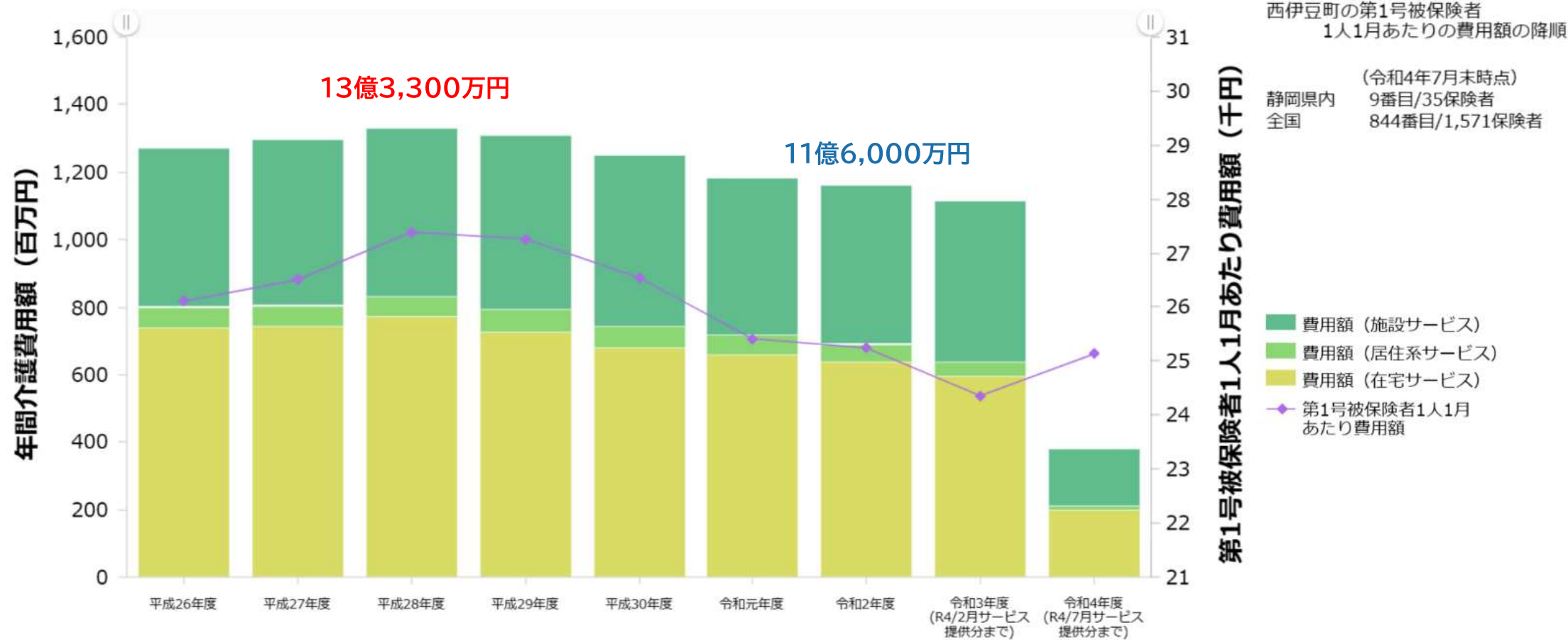
西伊豆町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



(出典) 平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和4年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

結果として

西伊豆町の介護費用額の推移



（出典）【費用額】平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和4年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計（※補足給付は費用額に含まれていない）
【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報」における第1号被保険者数各月の累計で除して算出

最後に・・・

- まずは、相手を知るために「ちょっと」話して見ませんか。
専門職なんだから、行政だから 分かっているだろう。
話すことで見えてくる課題も多く、一緒に解決方法も見えてくる。



- ① **規範的統合**
介護予防・日常生活支援総合事業＝まちづくり
の基本方針を役場職員、住民、専門職、サービス提供主体で
共有する。
情報提供するだけではなく、共有できていることが重要
- ② 『**自立支援**』の**仕組み**を作り、**皆で共有**する。
サービス(リハビリなど)をつくるだけでは給付費は減少しない。
- ③ 基本方針となる**ロードマップ**(計画等)をゴールを**共通理解**し
た上で、対象者・取組・実施内容・目標値・目標値の根拠を基
にたてて、どうなって欲しいかイメージする。



ご静聴ありがとうございました。